

平成26年10月10日

防災協だより (115号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
 横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>
 【編集責任者】企画部会長 鈴木 常夫

平成26年度(後半)の高圧に係る講習会開催日が一部変更となりました。詳しくは、本誌3面の「お知らせ」欄をご覧ください。

平成26年度における講習会及び連絡会議の結果並びに途中経過報告

平成26年度における連絡会議は、短期間(約一ヶ月)に6地区全ての会議を実施する短期集中型を採用し、その他の事業への注力分散を心掛ける一方、講習会開催にあつては、開催期間を前期(6月中旬～7月中旬)と後期(11月下旬～2月中旬)に分けて開催し、年度内の受講希望者に対し受講漏れを最小限に止める狙いととも、受付事務手続作業の更なる効率化を図る方策として実施しました。

〔平成26年度講習会開催の途中経過〕

地区名	開催日 予定日	会場名	講習会 名称	受講者数					
				平成26年度			平成25年度		
				更新	新規	計	更新	新規	計
〔前半〕									
川崎	6月19日	かわさき保育会館	運送員			175			156
横須賀	7月3日	横須賀市文化会館	運送員			140			123
			指導員	137	31	168	92	30	122
県西	7月14日	小田原市生涯学習センター	運送員			189			159
県央	7月18日	相模原南市民ホール	運送員			279			280
			指導員	294	65	359	265	43	308
小計				431	96	1,310	357	73	1,148
〔後半〕									
横浜	11月18日	神奈川公会堂	運送員			未実施			308
			運送員			未実施	319	105	424
湘南	12月16日	茅ヶ崎市民文化会館	指導員			未実施			187
			運送員			未実施	208	42	250
横浜	2月12日	鶴見公会堂	運送員			未実施			160
			指導員			未実施	108	56	164
合計				431	96	1,310	992	276	2,641

(参考) 過去10年の受講者数推移(人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
運送員	1,130	1,161	1,287	1,485	1,215	1,473	1,459	1,347	1,613	1,373
指導員	1,166	1,087	1,156	1,182	1,264	1,350	1,301	1,233	1,377	1,268

〔県・警察・消防・防災事業所連絡会議結果〕

地区名	開催日	会場名	出席者数					昨年度 合計
			防災協	県	警察	消防	計	
川崎	6月12日	かわさき保育会館	9	3	9	6	27	23
横須賀	6月16日	横須賀市文化会館	8	2	8	9	27	20
県央	6月20日	サン・エールさがみはら	11	2	10	12	35	45
湘南	6月25日	平塚市民センター	5	2	7	10	24	28
県西	6月27日	小田原市民会館	11	1	4	3	19	17
横浜	7月9日	県民サポートセンター	19	3	18	16	56	53
合計			63	13	56	56	188	186

平成26年度(第27回)関東高圧ガス保安大会の開催

平成26年度関東高圧ガス保安大会(1都10県※)が7月25日(金)午後1時30分より、「ホテルアジュール竹芝」において開催されました。

※1都10県 : 新潟、長野、山梨、群馬、茨城、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川、静岡

表彰式に先立ち、主催者を代表し関東高圧ガス保安団体連合会の深尾会長より開会挨拶があり、引き続き表彰式に移り冒頭 経済産業省関東東北産業保安監督部の沖畠部長より祝辞が述べられたのち、表彰式が執り行われました。

今回の表彰対象者は、保安監督部長表彰20件(12社・8人)、保安団体連合会長表彰(感謝状含む)35件(18社・17人)で、そのうち神奈川県内の関係事業所及び関係者は、保安監督部長表彰2社、会長表彰3社、感謝状2人が受賞されました。

防災協議会関係の受賞事業所は、以下の2社、1名です。

☆経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰

- ・優良防災事業所 大陽日酸株式会社川崎水江事業所

☆関東高圧ガス保安団体連合会保安団体連合会長表彰

- ・優良防災事業所 東京ガスLPGターミナル株式会社根岸出荷センター
- ・感謝状 小谷一雄(極東運輸株式会社)



大陽日酸(株)川崎水江事業所
小林 芳彦氏



東京ガスLPGターミナル(株)
根岸出荷センター
東島 泰祐氏



小谷 一雄氏
(極東運輸(株))

平成26年度県 央地域県政総合センター所長表彰

平成26年度の「神奈川県環境保全功労者・工業保安功労者県央地域県政総合センター所長表彰」の授与式が、6月27日(金)午前10時より厚木合同庁舎において行われました。

神奈川県高圧ガス防災協議会からは、協議会の副会長を長年務め『高圧ガスに係る災害防止と保安の確保』に尽力されたことを評価され、河原俊治氏(新相模酸素(株)代表取締役会長)が受賞されました。



河原俊治氏(新相模酸素(株))

小谷前会長の有志による慰労会開催

9月12日（金）ホテルモントレ横浜においてが一同に介し、小谷前会長の慰労会が盛大に行われました。

慰労会では、防災協議会における長年の要職でのご苦勞と協議会発展へのご尽力に対し、主催者を代表し布施会長の挨拶と参加者を代表し記念品の贈呈の後、神奈川県LPガス協会古川会長による乾杯ご発声（挨拶）により懇談タイムに入りました。その後小谷氏の御礼挨拶、花束贈呈をもって盛会裏の中に中締め（散会）となりました。

“永い間お疲れ様でございました、今後の更なるご活躍をご祈念申し上げます”

行事予定〔10月～12月〕

平成26年度（第9回）神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

高圧ガス及び火薬類に係る保安確保に著しい成果を収め、また保安に尽力し顕著な功績を挙げた事業所及び功勞者に対し知事又は各保安団体の長が表彰する目的で、毎年開催されています。

本年度は「神奈川労働プラザ」から「神奈川県民ホール」に会場を移し開催されます。

なお、記念講演終了後に懇親会を予定しておりますので、参加ご希望の方は防災協議会事務局のご連絡ください。

開催日時 平成25年10月27日（月）午後2時より
 会場 神奈川県民ホール（小ホール） 横浜市中区山下町3-1
 記念講演 群馬大学教授 片田 敏孝 氏
 演 題 「想定を超える災害にどう備えるか。」
 ～ 危機に主体的に備える個人・企業であるために ～

平成26年度県外研修見学会の開催

平成26年度部会研修見学会は、“千葉県地域防災協議会”が主催する高圧ガス防災訓練を見学します。

昨年までは、防災事業所及び各部会委員の事業所を中心に参加者を募集していましたが、本年度より全会員を対象に参加者を募ることといたしました。ご参加お待ちしております。

実施日 平成26年11月7日（金）～8日（土）
 見学会場 塩浜周辺地区再整備事業用地
 参加費 25,000円

※参加申し込みは、10月末までに事務局にご連絡ください。

平成26年度高圧ガス移動監視者講習開催

この講習を受講し、検定（筆記試験）に合格すると「講習修了証」が交付され、一定量以上のガス（種類に応じ）を移動が出来る「高圧ガス移動監視者」の資格が得られます。

平成26年10月20日（月）から11月4日（火）の間に受付を行いますので、お申込書ご希望の方は、事務局まで『講習検定申込書』をご請求ください。

講習日程 平成26年11月13日（木）～14日（金） 2日間講習
 検定日程 平成26年11月28日（金） 10:00～11:30

～事務局からのお知らせ～

☆平成26年度（後半）の運送員及び指導員講習の一部開催日程変更について（ご注意）

講習会場の耐震工事期間が重なったため、既にご案内の講習開催日の一部が変更となりました。

講習名	開催回	開催日	会場名
高圧ガス運送基準指導講習会	第7回	平成27年1月27日（火）	鶴見公会堂
高圧ガス運送指導員資格取得更新講習会	第5回	⇒ 2月12日（木）	

会員事業所紹介

中央運輸株式会社

当社は昭和33年9月設立で、今年で創立56年を迎えることが出来ました。設立当初は社員10名、トラック5台でのスタートでしたが、今日では140輛のタンクローリーを保有し、従業員180余名の会社に成長して参りました。

事業内容としましては、LPG・白油・黒油・潤滑油等のタンクローリー輸送を専門とし、日本経済の根幹を支える陸上でのエネルギー輸送に特化し、従業員一人一人が誇りを持って日々の業務に当たっております。

しかしながら、燃料業界自体も右肩上がりの時代からコスト削減を軸に生き残りを賭けた時代を迎え、元売り各社も統合合併による業界再編が進み、共同配送による業務効率化



をはじめ2次基地のみならず製油所を閉鎖統合する等徹底した効率化を進めております。当社も例に漏れず、川崎タンクローリー輸送協同組合内にあった川崎営業所と横浜営業所を統合し本社業務部とし本社機能も川崎に移し、清水営業所との2事業所体制とし現在に至っております。

それにより、LPGローリー 17輛は業務部横浜に集約し10t未満が3輛、10.5t以上が14輛とLPG車輛の大型化による業務の効率化を進めながら、また油ローリーに於いては業界初となる30klの大型タンクローリーの導入を始め主に関東一円を中心とした配送エリアで業界の雄を目指しております。

社内に於いて安全に対する啓蒙は徹底して行っておりますが、各荷主様の安全意識も非常に高く、安全に配送するという事は当たり前のことであり会社の売り文句にはならない時代となっております。当社は「服装・身なりを整えて大きな声で明るく挨拶」をモットーとし、まずはきちんとした服装でおお客様にご挨拶をすることを第一とし、誰にでも出来るごく当たり前のことを大切に、荷物はただ届ければ良いのではなく、おお客様に喜んでいただける配送品質に徹底的にこだわった配送を社員一人一人が心掛けております。今後も安全を最優先とすることは勿論のこと、社会に必要とされる地域No1企業を目指し日々努力して参ります。

扶桑運輸株式会社 高圧ガス事業部磯子事業所

当社は、昭和25年3月東京都港区において設立、昭和35年貨物自動車運送事業免許を許可される。昭和46年本社事務所を鶴見区に移転、その2年後の昭和48年10月より高圧ガス輸送事業及び入出庫荷役取扱業に着手。同年11月横浜市一般並びに産業廃棄物収集運搬業の許可取得後、新たな業務拡大を目指し平成8年6月に鶴見より金沢区鳥浜町に本社を移転いたしました。

高圧ガス事業部は昭和48年より磯子事業所として拠点を磯子区に置き関東一円のエリアのおお客様へタンクローリー車両を用いて輸送業務を行っております。

車両構成は酸素・窒素・アルゴン・炭酸等の輸送車両20台を揃え、常におお客様のご依頼に24時間対応出来る体制を構築し日々輸送業務に取り組んでおります。

同事業所は事業所長以下5名の事務所スタッフと乗務員の皆さんで構成されており、配車業務全般に対応する男性スタッフはいずれも乗務経験者で構成されており、荷主様よりのご質問やご相談、輸送先のおお客様よりの要望に迅速に対応出来る体制を構築しております。

安全教育に関しましては、「見える化」を柱とした物流品質の更なる向上を目指し、乗務員と共に力を合わせ「作業事故を起こさない・交通事故を起こさせない」をスローガンに日々当社の顔として危険物輸送に携わる乗務員の皆さん一人一人の安全、安心な輸送と

信頼される作業を継続するために、添乗教育や保安訓練等に力を注ぎ物流品質輸送の向上とゼロ災害を目標に取り組みを行っております。

安全に対する意識を惜むことなく他社の良い取り組みは積極的に自社に取り込み

荷主様のご協力や、神奈川県防災安全局工業保安課様の指導を仰ぎ並びに(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会様会員各社様のご支援をいただき、今後も安全輸送に対する乗務意識の指導徹底を図り、一層の輸送安全意識の高揚に努めて参りたいと考えます。

今後とも関係各位並びに会員各社様のご指導ご鞭撻の程、よろしくようお願い申し上げます。

